

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10457

美しいまちづくり推進事業（一般）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
取組方針	2	橋梁、トンネル等の適正管理

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	道路橋梁費		
	目	道路維持費		
	大事業	道路維持修繕事業		
	中事業	美しいまちづくり推進事業（一般）		

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	道路管理課	坂上 雅洋	435-1088
事業実施の根拠法令			関連課	自治振興課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	美しいまちづくりをするため、町美運動等による土砂の収集・運搬を行う		美しいまちづくりをするため、町美運動等による土砂の収集・運搬を行う			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	町美運動等による土砂の収集・運搬を行う。	町美運動等による土砂の収集・運搬を行う。	町美運動等による土砂の収集・運搬を行う。	町美運動等による土砂の収集・運搬を行う。		

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	37,791	31,779	37,791	64,059	36,657	76,873	76,881	0	0	0
伸び率（%）	△5%	△0.7%	0%	101.6%	△3%	20%	109.7%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	9,542	9,619	8,953	10,121	9,822	10,843	11,315	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	9,542	9,619	8,953	10,121	9,822	10,843	11,315	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	30,800	64,800	64,800	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	37,791	31,779	37,791	64,059	5,857	12,073	12,081	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	1.23	1.24	1.15	1.30	1.25	1.38	1.44	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	土砂等運搬委託、土砂等処分委託									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
土砂等収集運搬	地区		目標値	30	30	30	30	30
			実績値	30	30	30		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
清掃延長	m		目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度(%)	0%	0%	%	%	%
年間清掃回数（26路線×回数/月）	回		目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○ 見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市道の増加に伴い、管理コストの上昇が見込まれる。 維持管理経費の削減により、適正な施設管理が困難になる。
見直し・改善内容	収集箇所及び工法を精査し、コストの低減を図ることにより、市道延長の増加に対応しなければならないと考えられる。